

令和 元年度 都筑区民少年野球大会 教育リーグ

ブロック予選														最終結果							
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	勝	敗	分	得点	失点	差	勝点	順位	残り
	荏田南 イーグルス	折本 クーバーズ	川和 シャークス	佐江戸 少年野球部	ジュニア葵	茅ヶ崎 エンデバーズ	早瀬レッド ファイヤーズ	南山田 ライオンズ	山内 フェニックス	山田 パuffers	横浜 球友会	横浜 フューチャーズ									
1 荏田南イーグルス					7 ○ 4		9 ○ 2		9 ○ 8			6 ○ 0	4	0	0	31	14	17	12	7	
2 折本クーバーズ												18 ● 19	0	1	0	18	19	-1	0	10	
3 川和シャークス										2 ○ 1			1	0	0	2	1	1	3	10	
4 佐江戸少年野球部									11 ○ 1		0 ● 11		1	1	0	11	12	-1	3	9	
5 ジュニア葵	4 ● 7									1 ● 11			0	2	0	5	18	-13	0	9	
6 茅ヶ崎エンデバーズ							2 ● 10	7 ○ 5	2 ● 4				1	2	0	11	19	-8	3	8	
7 早瀬レッドファイヤーズ	2 ● 9					10 ○ 2		6 ● 8					1	2	0	18	19	-1	3	8	
8 南山田ライオンズ						5 ● 7	8 ○ 6						1	3	0	16	36	-20	3	7	
9 山内フェニックス	8 ● 9			1 ● 11		4 ○ 2							1	2	0	13	22	-9	3	8	
10 山田パuffers			1 ● 2		11 ○ 1			12 ○ 0				3 ● 13	2	2	0	27	16	11	6	7	
11 横浜球友会				11 ○ 0				11 ○ 3		13 ○ 3			3	0	0	35	6	29	9	8	
12 横浜フューチャーズ	0 ● 6	19 ○ 18											1	1	0	19	24	-5	3	9	

月別対戦カード											対戦ルールについて
3月-4月		5月-6月			7月-8月			9月-10月			(1) 2ヶ月毎に記載されている対戦を最優先で行う。 例1: ①のチームは、3月-4月中に1-12、1-3を行い上記2試合対戦後であれば、他の対戦を前倒しで行なうことは構わない。 例2: ①のチームが、3月-4月中に1-12が対戦できなかった場合でも、5月からは1-5、1-7、1-9を優先して行い、その後1-12の対戦を行う。 (2) 9月末時点で3月~8月対戦の未消化分は、双方、勝ち点0(引き分けなし)とする。 (3) 10月末をもって未消化分は双方、勝ち点0とする。 (4) 上記(2)、(3)において、自チームの都合により試合を消化できないチームが不戦敗を申し出た場合は、相手チームに勝ち点3を与える。 (5) 未消化試合が多く、決勝戦進出チームの決定が勝ち点だけでは判断できない場合、理事長が決勝進出チームを決定する。 ※4年生以下の選手の育成を優先し、人数が少ない場合は5年生2名まで可とし、5年生同士の交代を認める。 →4・3年生で試合ができる人数が揃っている場合、5年生は出場できない。ただし、4・3年生が人数同もない場合や体調不良の場合は5年生の出場を認める。 (その他のケースは、当該チーム了承のもとで行う。)
1-12	1-3	1-5	1-7	1-9	1-11	1-2	1-4	1-6	1-8	1-10	
2-11	2-12	2-4	2-6	2-8	2-10	3-11	2-3	2-5	2-7	2-9	
3-10	4-11	3-12	3-5	3-7	3-9	4-10	5-11	3-4	3-6	3-8	
4-9	5-10	6-11	4-12	4-6	4-8	5-9	6-10	7-11	4-5	4-7	
5-8	6-9	7-10	8-11	5-12	5-7	6-8	7-9	8-10	9-11	5-6	
6-7	7-8	8-9	9-10	10-11	6-12	7-12	8-12	9-12	10-12	11-12	